

かかりつけ医がいらない人には、診断を受けた医療機関や千葉県との相談窓口を案内している。引き続き、旭匠瑳医師会や保健所と連携を図りながら対応していきたい。

内山 隼人 議員

問 「おむつ宅配」を提案する。届ける福祉によって、単におむつを届けるだけでなく、情報共有を図り、支援やサポートにつなげられる。孤立化を防ぐことで、育児放棄や虐待を未然に防ぐことができる。子育て支援の充実、子育てに対する負担を軽くし、出生率の低下や人口減少に歯止めをかける上で大事な施策になる。

答 **〔福祉課長〕** 母子の健康状態などをチェックする見守り活動を兼ねており、福祉サービスの向上につながると考えられる。先進事例を参考に調査研究したい。

問 子どもが長期間マスクを着用することで、健康被害や発育に悪影響を及ぼすことが懸念されている。メリハリをつけて、感染リスクの低い場面では積極的に外す努力が必要と考える。文部科学省のガイドラインでは、体育の時間は屋内・屋外に関わらず必要なしとされているが、

市内の学校では運動時も着用している。「苦しい」ことを我慢している生徒もいる。先生が外すよう促しても外せない子どもも多い。外す練習が必要だと考える。また、マスクは飛沫対策のためであり、黙って利用する図書室などでは外すべきではないか。

答 **〔教育長〕** 小・中学校に対し、マスク着用が不要な場面を具体的に示すなどマスク着用について指導してきた。息苦しいと感じる時など、生徒本人の判断でマスクを外してよいことを指導したり、教職員から声掛けもしている。登下校でも十分に距離が取れていれば着用しなくてよいとしている。

問 制度改定で10月より、75歳以上の医療費窓口負担が2割に引き上がるが、対象者を伺う。

田村 明美 議員

〔日本共産党〕

答 **〔市民課長〕** 75歳以上で課税所得28万円以上145万円未満で、かつ単身世帯の場合年収200万円以上の方、2人以上世帯で合算年収320万円以上の場合、その75歳以上の家族全員が、医療費

の窓口負担2割となる。ただし、令和7年9月30日までの3年間は、激変緩和措置があり、後日口座に払い戻される。

行政

林 明敏 議員

〔市民クラブ〕

問 市長の重点施策である産業用地整備については、各課が協力したプロジェクトチームのようなものを立ち上げて取り組んでいかなければならないと思うが、いかがか。

答 **〔市長〕** 銚子連絡道路インターチェンジ予定地周辺を整備する産業用地整備推進事業については、現在、副市長を会長とし、産業振興課長及び関係課長で構成する匝瑳市産業立地検討会議を設置し、関係各課と連携の下で取り組んでいる。

米価下落対策

椎名 勝英 議員

〔日本共産党〕

問 令和4年産米は8月24日現在の1等米価格は、60キロ当たり、ふさおとめ9、

800円、ふさこがね9、600円、コシヒカリ10、500円であり、8月29日以降はそれぞれ300円ほど安くなると聞いている。3年続けて1万円を割る状況だ。さらに、肥料、資材も昨年から比べて30%以上も高騰している。農家は大変厳しい状況に追い込まれている。10アール当たり5、000円の助成を求め、市長の考えを伺う。

答 **〔市長〕** 市では今年度も米価の安定を図るために必要に応じた生産を推進している。さらに独自の支援を行うことは現在の財政状況から大変難しい状況である。しかし、私が政策として掲げたまちづくりビジョンでは、農業所得の向上に取り組んでいくことを約束している。今後市内で検討していきたい。

問 市長は、需要に応じた生産を推進することで米価下落対策になっているとのことだが、水稲生産者は、政府の生産目標を達成した作付けを実施しているが、米価は上がらない。農家は、自分で価格を決められない。今の生産者価格は、資材等の高騰で農家を維持できない状況にあると思う。

答 **〔産業振興課長〕** 農業所得の向上について、市長答弁のとおり市内で検討していきたい。

消防・防災

武田 光由 議員

〔公明党〕

問 地震発生時に通電による火災を防止する「感震ブレイカー」の設置促進について、本市の取組と現状を伺う。

答 **〔市長〕** 匝瑳市横芝光町消防組合が発行する「消防広報119だより」を通じて周知を図っている。今後は市ホームページや広報そうさを活用して、電気火災の危険性と感震ブレイカーの効果等を紹介するなど設置促進に努めていく。

問 住宅に感震ブレイカーを設置するための助成を行っているかどうか。

答 **〔総務課長〕** 県内の動向や実績、あるいは先進自治体の取組などを参考に調査研究をしていきたい。

山崎 等 議員

〔創世会〕

問 毎年質問している消防団員の不足について、その後の対応と今後についての